

令和3年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）を開催しました

消防庁救急企画室

1. はじめに

令和4年1月28日（金）に、消防庁と厚生労働省の共催により、「令和3年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）」を開催しました。

今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑み、同時期に開催された「第30回全国救急隊員シンポジウム」と同様、出演者・聴講者ともに現地に集まらないオンライン形式にて開催しました。

「全国メディカルコントロール協議会連絡会」は、全国のメディカルコントロール協議会に関する機関（救急医療に関する学会、団体、消防機関及び医療機関等）がメディカルコントロール体制に関する課題を整理するとともに、他のメディカルコントロール協議会等から学ぶことができるよう情報共有及び提言の場として行っているもので、平成19年度の初開催以来、今年度で15年目となります。



横田会長による開会のご挨拶

2. 我々の地域のメディカルコントロール取組事例発表

第1部の「我々の地域のメディカルコントロール取組事例発表“地域メディカルコントロール協議会間の連携による好取組事例”」では、各地域で取り組んでいる連携の好事例について事前に募集し、応募のあった7団体に発表していただきました。

発表いただいた団体は、岐阜県メディカルコントロール協議会（岐阜県）、安達地方広域行政組合消防本部（福島県）、岡山県南東部メディカルコントロール協議会（岡山県）、大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会（大阪府）、北秋田地域メディカルコントロール協議会（秋田県）、西部地域メディカルコントロール協議会（静岡県）、高岡医療圏メディカルコントロール協議会（富山県）の皆様です。

世話人による審査及び聴講者によるオンライン投票が行われた結果、岡山県南東部メディカルコントロール協議会の「地域メディカルコントロール協議会間の連携～地域MCの垣根を超えた教育システムの構築に向けて～」が最優秀活躍賞を受賞しました。



最優秀活躍賞を受賞された
岡山県南東部メディカルコントロール協議会

3. パネルディスカッション

第2部では、座長に帝京大学医学部附属病院長の坂本哲也先生を迎え、「コロナ禍を踏まえた救急救命士等の教育体制」をテーマにパネルディスカッションを行いました。最初に平塚市消防本部（神奈川県）、豊田市消防本部（愛知県）、尼崎市消防局（兵庫県）、北九州市消防局（福岡県）の4消防本部（局）からコロナ禍における取組を発表いただいた後、アドバイザーとして日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野教授の横堀将司先生を交え、活発な意見交換を行いました。

病院実習については、コロナ禍における実習受入れ体制等の医療機関の協力がより一層重要であることが改めて認識されました。日常教育については、感染防止資器材及び訓練資器材の増強、指導救命士による再教育教材の作成、WEBを活用した研修の導入、感染防止対策研修DVDの作成等、各本部（局）の様々な工夫を共有することができました。



パネルディスカッションの様子

4. おわりに

今回の連絡会は、群馬県高崎市のGメッセ群馬を配信基地局としたオンライン開催となり、全国各地の約1,000名の方々にご視聴いただきました。事前準備や施設提供などで多大なご尽力をいただいた、高崎市等広域消防局の皆様をはじめとする全国救急隊員シンポジウム主催事務局の皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。

令和4年度の「全国メディカルコントロール協議会連絡会（第1回）」は、令和4年5月25日（水）に大阪国

際会議場で開催される予定です。

今後もメディカルコントロール体制に関する情報共有及び提言の場として充実した会となるよう努めてまいりますので、多くの方にご参加いただきますようお願いいたします。



開催にご協力いただいた高崎市等広域消防局及び全国救急隊員シンポジウム主催事務局の皆様

問い合わせ先

消防庁救急企画室 救急推進係
TEL: 03-5253-7529